

# 電話機と宅内装置の歩み

History of telephone sets and customer-premise units

1950

1960

1970

1980

1990

2000

2010

家庭用

基本電話機

回転ダイヤル式

プッシュホン式

電子化

IP化

ホームテレホン

ボタン式

電子化

コードレス

IP化

多機能電話機

留守録・ファクシミリ・データ

IP化

画像通信機器

描画通信・スケッチホン・テレビ電話

IP化

福祉電話

難聴者向け・緊急通報用・手の不自由者向け

公衆用

公衆電話機

コイン・回転ダイヤル式

コイン・プッシュホン式

カード磁気式

デジタル式

ICカード式

事業所用

ビジネスホン(ボタン電話装置)

リレー式

電子式

デジタル式

IP化

事業所用構内交換機

ステップバイステップ式

クロスバ式

電子式

デジタル式

IP化

ファクシミリ

G1

G2

G3

G4

IP化

コンピュータ通信・マルチメディアプラットフォーム

LAN

イントラネット(オープン化)

ユーザ装置をとりまく主な状況

電話不足の時代

●1957年長距離市外通話開始 ●1962年市外通話に距離別時間差法導入(K方式)

多機能の時代

●1972年広域時分制の導入 ●1979年全国ダイヤル化完了

マルチメディアの時代

●1985年端末機器の開放 ●1997年デジタル化完了

光化の時代

●2003年IP電話サービス開始